

# 市場事務所便り

社会保険労務士 市場 敬将



〒381-1231  
長野市松代町松代 9 0 8  
電話 : 026-278-3555 F A X : 026-278-3540  
e-mail : [ima@ichiba-sr.com](mailto:ima@ichiba-sr.com) URL : [www.ichiba-sr.com](http://www.ichiba-sr.com)

## 国交省が睡眠不足による事業者の事故防止対策強化へ省令改正



### ◆ 施行は 6 月 1 日。睡眠不足の場合 は乗務禁止に

国土交通省が、貨物自動車運送事業法などに基づく省令を改正し、事業者がドライバーを乗務させてはならない項目に「睡眠不足」を新たに盛り込みました。これまでは、「疾病」や「疲労」などの項目はありましたが、睡眠不足は明記されていませんでした。施行は今年 6 月 1 日で、以降は、トラックやバスの運転手は乗務前に必ず睡眠状態のチェックを受け、不足の場合は乗務できなくなります。

### ◆ 背景に深刻な人手不足による過重労働と事故多発

背景には、運送業界では深刻な人手不足が続いており、運転手が過酷な勤務を強いられて睡眠不足による事故が目立っていたことがあります。

### ◆ 改正の概要

改正の概要は以下のとおりです。

- (1) 旅客自動車運送事業運輸規則および貨物自動車運送事業輸送安全規則の一部改正
  - ・ 事業者が乗務員を乗務させてはならない事由等として、睡眠不足を追加する。
  - ・ 事業者が乗務員の乗務前等に行う点呼において、報告を求め、確認を行う事項として、睡眠不足により安全な運転をすることができないおそれの有無を追加する。
  - ・ 運転者が遵守すべき事項として、睡眠不足により安全な運転をすることができない等のおそれがあるときは、その旨を事業者に申し出ることを追加する。
- (2) 「旅客自動車運送事業運輸規則の解釈および運用について」および「貨物自動車運送事業輸送安全規則の解釈及び運用について」の一部改正
  - ・ 点呼時の記録事項として、睡眠不足の状況を追加する。

## ◆点呼での睡眠不足の確認が必須。 違反すれば行政処分に

これにより、事業者は、乗務前の「点呼」で運転手の健康状態や飲酒の有無などのほかに睡眠が十分かを確認することが義務となります。具体的な睡眠時間についての基準は定められていませんが、睡眠不足のまま乗務を許可したと認定されれば運行停止など行政処分の対象となるため、事業者は厳しい対応を求められます。

具体的には、運転手との対面のやり取りで、睡眠不足による集中力低下など安全に支障がでる状態にないか確認して結果を記録として残さなければならず、ドライバー側にも正直な申告が義務化されます。

【国土交通省～睡眠不足に起因する事故の防止対策を強化します!!】

<http://www.mlit.go.jp/common/001232432.pdf>

## 新たな在留資格で外国人の長期 就労が可能に



### ◆「骨太の方針」の原案

政府は、「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」の原案をまとめました。人手不足対策として、外国人材の受け入れを拡大するため、新たな在留資格を創設することがポイントです。政府は現在、単純労働

の分野で外国人の就労を原則として禁止していますが、医師や弁護士など高度な専門性を持った人材は積極的に受け入れ、家族の帯同も認めています。今回の原案による新たな在留資格の対象は、人手の確保が難しく、業種の存続・発展のために外国人材の受け入れが必要と認められる業種（農業、介護、建設、宿泊、造船）の5分野を想定しています。

### ◆最長で10年の就労が可能

日本では約128万人の外国人が働いています。その内訳は、人数の多い順に、①永住者や日本人と結婚した人、②留学生などのアルバイト、③技能実習生、④専門性が高い医師や研究者などです。技能実習生は約25万8,000人で、5年前のおよそ2倍に膨らんでいます。今回の原案では、技能実習生に対する5年の就労延長を想定した新資格の創設を明記しました。実現すれば、最長で10年の就労が可能になります。政府は秋の臨時国会にも出入国管理法改正案を提出し、来年4月からの導入を目指します。さらに、骨太の方針では、新資格を得た人が日本語や専門分野の試験に合格すれば、在留期限の上限を撤廃し、家族の帯同も認める考えも掲げました。

### ◆技能実習制度が骨抜きになるとの懸念も

1993年に始まった技能実習制度は、本来、途上国への技術移転が目的でした。日本での就労期間が延びるほど、身に付けた技術を母国で活かす機会は遠のきます。今回の案は、技能実習制度を骨抜きにする可能性も指摘され、事実上の移民政策につながるとの懸念の声も上がっています。

◆法務省「センター」で在留情報を一元管理

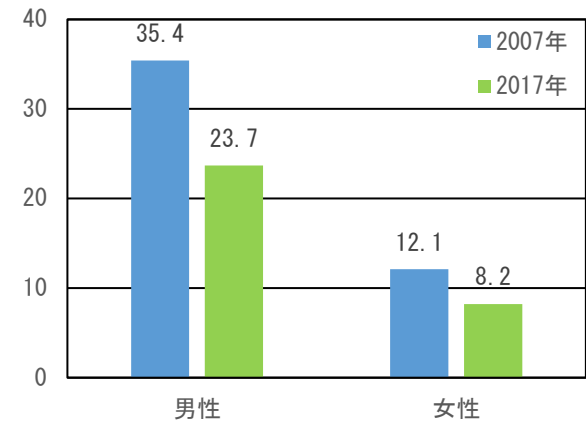
政府は、法務省に「在留管理インテリジェンス・センター」（仮称）を設け、雇用や婚姻などの情報を一元管理させることで、不法就労を防ぐとしています。法務省は、新設する在留管理インテリジェンス・センターが外国人労働者の離職や転職などの状況を把握しやすいよう、雇用保険を所管する厚生労働省との情報共有を進める方針です。日本人と結婚した外国人が離婚した場合などに自治体と提携して情報を得るための法整備を進めます。また、外国人留學生の勤務先や勤務時間の管理を強化し、法定時間（1週間あたり28時間以内）を超えれば、在留許可を取り消す方針です。

長時間労働はここ10年でどのくらい減ったのか？

◆月240時間以上の長時間労働、10年で減少

月に240時間以上の長時間労働をしている人が、この10年間で減少したことが、東京大学社会科学研究所の石田浩教授らの調査でわかったと報じられました（朝日新聞5月18日付）。報道によれば、月に240時間以上の長時間労働をしている男性の「典型雇用」（正社員など）では、2007年の35.4%から、2017年は23.7%まで減少しました。同じく女性の典型雇用でも12.1%から8.2%に減少。「非典型雇用」（契約社員など）でも減少傾向が見られました。

(%) 月240時間以上の長時間労働(典型雇用)



◆月240時間労働は過労死ライン

月に240時間以上の長時間労働（月の労働日を20日として、1日12時間以上の労働）は、いわゆる「過労死ライン」に抵触する危険な水準です。脳卒中や心臓病などの発症率が高く、いざ労働災害認定となった際には業務との因果関係が認められやすくなります。労働者・企業の双方にリスクがある危険な働き方です。減少傾向にあるとはいえ、23.7%という結果は、いまなお高いというべきかもしれません。

◆帰宅する時間も早まっている

また同調査では、働く人の「平均帰宅時間」も早まったことがわかりました。この10年間で、男性は午後8時2分から同7時48分へ、女性は午後6時48分から同6時1分へ、それぞれ短縮しました。過労死ラインレベルの長時間労働だけでなく、平均的な労働時間も短縮しているといえそうです。

平均帰宅時間

|    | 2007年  | 2017年  |
|----|--------|--------|
| 男性 | PM8:02 | PM7:48 |
| 女性 | PM6:48 | PM6:01 |

## ◆働く人の意識は変化し続ける

帰宅時間については、より長いスパンで比較した調査もあります。シチズン時計株式会社「『ビジネスマンの生活時間』35年の推移」によれば、「「遅い」と感じる帰宅時間」は、1980年から2000年までは「23時」がトップでしたが、2010年には「22時」がトップ、2015年には「21時」がトップと、この35年間、年々早まる結果となりました。同調査は、リーマン・ショック(2008年)や東日本大震災(2011年)の影響から生活様式が見直され、働き方にも意識の変化が見られる、と指摘しています。

その後も過労死事件の社会問題化や働き方改革等もあり、働く人々の労働時間への意識はさらに高まっています。企業としては、労働者の意識や世相の変化から取り残されないよう、常に注意が必要でしょう。

## ～今月のことば～



深夜原稿を書いているとき、突然になんの脈絡もなくハヤナイのじいさん(朝鮮人の行商人)や、お玉(少し知能の低い物貰い)のことを思い出すことがある。

私たちはなぜ、ハヤナイのじいさんを襲ったり、お玉を泣かせたりしたのだろうか。なぜあんな残酷な仕打ちをしたのだろうか。そう思いながら私は、泣くような甲高い声をあげて怒ったハヤナイのじいさんや、子供のように泣き叫んで走ったお玉を思い出し、思わず涙ぐみそうになる。

私は年をとって涙もろくなったのだろうか。そうではあるまい。多分お玉の人生、ハヤナイのじいさんの人生が、いまになって私にもうっすらと見えてきたのである。そして彼らの人生に、あのようなかかわり方

をした自分も見えてきたのである。

人はなぜ、人をいじめたりするのだろう。そもそも人間とは何者なのだろう。ペンを休め、私は凝然とそういうことを考え続けるのである。

『周平独言』 藤沢 周平 著

## ～事務所よりひとこと～



セミの声もちらほらと聞こえてくるようになり、夏本番を感じる季節となりました。猛暑日となった先週末、子供の高校の文化祭へ足を運んできました。前夜祭から後夜祭まで計4日、一般公開は土・日の2日間となっていました。メインのクラス展はもちろん、模擬店・中庭ステージでのバンド演奏・手打ちそばの振舞い・書道パフォーマンス等、中々面白そうな企画が用意されていました。クラス展はナイトミュージアムやチャーリーとチョコレート工場などの様々な映画をテーマにして、その世界を表現したものとなっており、台車のトロッコに乗せられたり、小人のダンスを見せてもらったり、クイズに答えたり、さながらテーマパークのアトラクションのようでした。ちなみにSTARWARSをテーマにしたクラスでは、トロッコに乗って星を捕まえ、悪者を倒す訓練をし、生徒が揺らす椅子の宇宙船に乗船し、ワープゾーンをくぐり抜けて宇宙旅行に出発するなど、息をつかせぬ発想に抱腹絶倒しながら楽しみました。「未熟者と呼ばれる今しかできないことを」という文化祭テーマでしたが、確かにその年代にしか思いもつかない発想を存分に感じた、暑い日の爽やかなひと時でした。(宮坂)